

平成14年度

予算案重点施策

平成14年2月

豊島区

1．街の「元気」を耕す

街に文化の息吹を興す

- (1) 文化・芸術振興ビジョンの策定【新規】 1
- (2) 区制施行 70 周年記念事業の実施 1
 - 区制 70 周年記念文化芸術振興助成【新規】
 - 区制施行 7 0 周年記念事業式典の実施 拡充
 - 区制 7 0 年記念誌の発行【新規】
- (3) 池袋演劇祭特別企画公演への助成【新規】 3
- (4) 民俗芸能 in としまの開催 拡充 3
- (5) 森田茂作品展の開催【新規】 4
- (6) 教育シンポジウムの開催【新規】 4
- (7) 大学サミットの開催【新規】 4
- (8) みみずく資料の整理【新規】 5
- (9) 図書資料の充実 拡充 5

街の活力を生み出す

- (1) ポイントカードシステム導入の支援【新規】 6
- (2) 中小商工業融資の充実 拡充 6
- (3) 区民が選ぶ名品名産 7 0 選【新規】 7
- (4) 中山道開道 4 0 0 年祭への助成【新規】 7
- (5) 観光事業の充実（観光パンフレットの作成） 拡充 7

2．区政の新たな扉を開く

21 世紀の区政をデザインする

- (1) 新長期計画の策定【新規】 8
- (2) [再掲] 文化・芸術振興ビジョンの策定【新規】 8
- (3) 男女共同参画社会の実現 9
 - 男女共同参画都市宣言【新規】
 - 男女平等推進センター相談の充実 拡充
- (4) 法定外税検討会議の設置【新規】 9
- (5) 保健福祉基盤整備支援基金の創設【新規】 10
- (6) 地域保健・福祉の計画化 10
 - 地域福祉計画の策定【新規】
 - 第 2 期高齢者支援としまプラン 21 の策定【新規】
 - 第 2 期介護保険事業計画の策定 拡充
 - 保健医療計画の改定【新規】
- (7) 新たな住宅マスタープランの策定【新規】 11
- (8) 経験者採用（リカレント非常勤）制度の創設【新規】 11
- (9) 行政評価制度の推進 拡充 12
- (10) 区民活動への助成【新規】 12

スリム・スピーディなシステムを築く

(1) 情報化基盤の整備 拡充	13
(2) 豊島区ホームページの充実 拡充	13
(3) 障害者福祉支援費制度への移行準備【新規】	14
(4) パソコン講座・IT基礎講習等の実施【新規】	14
(5) 図書館のIT活用の調査【新規】	14
(6) 点字図書館サービスの充実 拡充	15
(7) 小学校の給食調理業務の委託 拡充	15
(8) 図書館奉仕員制度の推進 拡充	15

3. 子どもたちの笑顔を紡ぐ

子どもたちの生活空間を広げる

(1) 子ども白書の作成【新規】	16
(2) プレーパークの開設準備【新規】	16
(3) 中学生居場所づくり事業の実施【新規】	17
(4) 中学校地域クラブの育成モデル事業の実施【新規】	17
(5) 子ども虐待防止ネットワーク事業 拡充	18
(6) 認証保育所への助成【新規】	18
(7) 民間保育施設整備の助成【新規】	19
(8) 障害児保育の充実 拡充	19

学校・学習環境を整備する

(1) 少人数教育モデル事業の実施【新規】	20
(2) 総合的な学習の時間の推進 拡充	20
(3) 外部講師の活用	20
豊島スクールスタッフの充実 拡充	
外国人講師の学校派遣の充実 拡充	
(4) 情報教育研修の充実 拡充	21
(5) スクールカウンセラー派遣の充実 拡充	21
(6) 小中学校の適正配置	22
南池袋小学校の建設【新規】	
新中学校の建設【新規】	
小中学校の適正配置の推進 拡充	
(7) 中学校冷暖房機の設置【新規】	24
(8) 耐震補強対策【新規】	24

4 . 健康と安心な暮らしをサポートする

地域福祉のシステムを築く

(1) [再掲] 保健福祉基盤整備支援基金の創設【新規】	25
(2) 保健福祉基盤整備への助成【新規】	25
(3) 介護保険事業の充実	26
介護保険料の独自減額制度の創設【新規】	
介護サービス評価事業の実施【新規】	
介護相談員事業の実施【新規】	
(4) 福祉サービス権利擁護センターの開設準備【新規】	27
(5) 在宅介護支援センターの充実 拡充	27
(6) 福祉のまちづくりの普及推進 拡充	27
(7) 鉄道駅エレベーター等設置事業への助成【新規】	28

健康で自立した生活を支援する

(1) 高齢者の住居環境の整備	29
高齢者向け優良賃貸住宅の供給【新規】	
高齢者等に対する賃貸住宅入居支援【新規】	
(2) 高齢者入院衛生用品購入費の助成【新規】	29
(3) 障害者の自立支援	30
障害者就労支援センター「れいんぼう」の開設【新規】	
障害者地域自立生活支援センターの充実 拡充	
(4) 精神障害者ホームヘルプサービスの充実 拡充	30
(5) 知的障害者グループホームの充実 拡充	30
(6) C型肝炎ウイルス検査の実施【新規】	31

5 . 安全でさわやかな街環境を保つ

自転車との共存を図る

(1) 放置自転車対策の充実（実態調査・撤去等）【新規】	32
(2) 目白駅東・北自転車駐車場の開設【新規】	32
(3) 巣鴨駅南自転車駐車場の建設【新規】	33
(4) 西巣鴨自転車保管所の整備【新規】	33
(5) 池袋西自転車保管所の整備【新規】	33
(6) 自転車利用空間ネットワークの整備【新規】	34

美しい地球環境を守る

(1) 大気汚染対策（悪臭防止対策）充実 拡充	35
(2) 低公害車の普及 拡充	35
(3) 屋上緑化の助成 拡充	35
(4) 公園・児童遊園ボランティア清掃の推進 拡充	36

(5) 資源分別回収（新パイロットプラン）の実施【新規】	36
(6) 買い物袋（ペットボトル再生品）の普及・啓発【新規】	36
(7) ごみ減量リサイクル普及推進事業の拡充 拡充	37
(8) 新豊島清掃事務所の建設【新規】	37
(9) 不法投機ごみマップの作成及び撤去【新規】	37
(10) 廃棄物収集事業（資源・ごみ出前収集）拡充	37
(11) ふれあい指導の充実 拡充	38
(12) 道路環境整備の推進【新規】	38

6 . 機能的な都市空間を創出する

(1) 用途地域等の見直し【新規】	39
(2) 駅周辺整備	39
大塚駅周辺整備の調査【新規】	
目白駅周辺整備事業【新規】	
下板橋駅周辺道路等整備【新規】	
(3) 都市計画道路補助 175 号線の整備【新規】	40
(4) [再掲]新たな住宅マスタープランの策定【新規】	40
(5) 長崎道立体横断施設の建設【新規】	40
(6) 橋梁の整備（染井橋・神高橋）【新規】	41
(7) 椎名町公園の整備【新規】	41

1. 街の「元気」を耕す

街に文化の息吹を興す

(1) 文化・芸術振興ビジョンの策定【新規】

1,556 千円

文化の風薫る都市をめざし、文化・芸術振興に対する展望を示す基本方針「文化・芸術振興ビジョン（仮称）」を策定します。

豊島区は、近代以降の都市化過程において、大学を中心とする学園都市として、また長崎アトリエ村の芸術活動や「赤い鳥」児童文学活動、さらには演劇・映画等大衆文化活動の拠点として、数々の文化・芸術エネルギーを内包しながら発展してきました。一方、近年の社会経済環境の変化により、区民の価値観も多様化し、心の豊かさを求める声が高まっています。こうした状況の中、区政のさまざまな課題の実現と同時に、豊島区独自の文化的土壌を育み、豊かな潤いある都市として、区民の誇れる「ふるさと豊島」を創生していくことが、21世紀に向けた区の大きな目標であると考えます。

これまでの文化行政の在り方を見直し、新たな文化的都市の創生への展望を拓くため、公募による区民を含む策定委員会を設け、振興ビジョンを策定します。

策定委員会の設置

- ・ 構成 区民・学識経験者等 19名
- ・ 設置時期 平成14年7月（予定）

[詳細] 地域文化課長 荻原 美智子 内線 2410

(2) 区制施行70周年記念事業の実施

豊島区は、昭和7（1932）年10月、東京市郡合併により近郊82カ町村が東京市に編入され、新たに20区が設けられた際、北豊島郡下の巣鴨町・西巣鴨町・長崎町・高田町の4つの町が合併して誕生しました。平成14年度は区制施行70周年の節目を迎えます。新たな文化的都市へのスタートをきるための各種事業を実施します。

基本テーマ 躍動・感動・創造 とともに創ろう 文化の風薫るまち としまー

実施事業 全16事業（太字事業の詳細については各ページ参照）

区制70周年記念文化・芸術振興助成（2p）	区民が選ぶ名品名産70選（8p）
区制施行70周年記念式典の実施（2p）	中山道開道400年祭への助成（8p）
区制70周年記念誌の発行（2p）	ブレーパークの開設準備（17p）
池袋演劇祭特別企画公演への助成（3p）	ワンパクまつり
民俗芸能inとしまの開催（3p）	公会堂50年史の展示
森田茂作品展の開催（4p）	「区役所連」の地域イベントへの参加
教育シンポジウムの開催（5p）	防災サミット会議の開催
大学サミットの開催（5p）	広報としま区制施行70周年記念特集号の発行

区制 70 周年記念文化・芸術振興助成【新規】

(50,000 千円)

区民及び区民団体による、区制施行 70 周年を記念する文化・芸術活動を助成します。

70 周年記念を契機に、区民の文化活動の育成・支援を図り、文化・芸術振興の起爆剤とします。

主な助成事業

・みんなで歌い継ぐ「区民の歌」

区民から歌詞を公募し、区の愛唱歌を創作します。歌を通じて区への愛着を深め合い、また区の魅力を広く伝えていきます。

・第 3 回東京よさこい

池袋西口で毎年開催される「ふくろ祭り」のメインイベントとなった「東京よさこい」を助成します。また、区職員によるチームも出場し、街の活性化に寄与します。

・上海市静安区少年宮の子どもたちとの交流事業

・江戸川乱歩関係の資料展示・紹介

[詳細] 地域文化課長 荻原 美智子 内線 2 4 1 0

区制施行 70 周年記念式典の実施 拡充

(4,573 千円)

例年実施している「豊島区功労者表彰式」にあわせ、記念式典を開催します。

内 容 記念講演・伝統芸能の上演等

実施日 平成 14 年 10 月 1 日

[詳細] 総務課長 横田 勇 内線 2 2 1 0

区制 7 0 周年記念誌の発行【新規】

(3,408 千円)

区制施行 70 周年を記念し、豊島区の過去と現在の歴史を写真で綴る記念誌を発行します。

学校、図書館等関係機関に配布するとともに、その一部を頒布します。

発行部数 5,000 部 (うち 3,000 部を有償頒布)

[詳細] 広報課長 小野 温代 内線 2 3 1 0

(3) 池袋演劇祭特別企画公演への助成【新規】

2,500 千円

毎年 9 月、区内の各劇場を舞台に、数々の演劇を一挙上演する「池袋演劇祭」が開催されます。

区制施行 70 周年を記念し、池袋演劇祭を主催する豊島区舞台芸術振興会が、特別企画として、辻村ジュサブロウ（寿三郎）の人形芝居を、区内在住の女優・阿部寿美子（振興会副会長）の語りで上演します。

振興会の企画・制作で、泉鏡花原作「化鳥」の上演が予定されています。

公演日 平成 14 年 10 月 22、23 日（3 公演を予定）：東京芸術劇場小ホール 2

* 区制施行 70 周年記念事業

[詳細] コミュニティ振興公社管理課長 藤好 雄志 内線 2 4 8 1

(4) 民俗芸能 in としまの開催 拡充

3,800 千円

民俗芸能の伝承・継承を図るため、「長崎獅子舞」「富士元囃子」など区独自の民俗芸能と近隣地域及び姉妹都市・秩父市の民俗芸能が共演する「民俗芸能 in としま」を毎年開催しています。

平成 14 年度はさらに友好交流都市も招聘し、それぞれの地域に根付いた民俗芸能を一堂に会し、区民の鑑賞に提供するとともに、友好交流を深めます。

実施日 平成 14 年 10 月 19 日（予定）：豊島公会堂

招聘都市 秩父市、遊佐町（山形県）、一関市（岩手県）、関市（岐阜県）（予定）

* 区制施行 70 周年記念事業

[詳細] 地域文化課長 荻原 美智子 内線 2 4 1 0

(5) 森田茂作品展の開催【新規】

2,514 千円

文化勲章を授章された洋画家・森田茂氏（名誉区民）の作品展を開催します。

森田氏は区内在住であり、その作品を区にも寄贈されています。氏の画業を伝える場を設け、区民にその芸術性の高い作品を鑑賞する機会を提供します。

作品展の開催 東京芸術劇場において約 50 点の作品を 7 日間展示
* 区制施行 70 周年記念事業

《森田茂氏のプロフィール》

明治 40 年茨城県下館市に生まれる。大正 14 年茨城県師範学校（現茨城大学）卒業後、小学校教員を経て、画家を志し上京。昭和 9 年第 15 回帝国美術院展覧会で初入選（「神楽坂の親子」）。昭和 13 年東光会会員となり、同年第 2 回新文展で特選受賞（「金蔵獅子」）。昭和 40 年代に入り、山形県羽黒山の黒川能をテーマとする作品を次々制作、昭和 41 年第 9 回日展で文部大臣賞、同 45 年改組第 1 回日展で日本芸術院賞を受賞。昭和 51 年日本芸術院会員、平成元年文化功労者顕彰、同 5 年に文化勲章を受章。現在豊島区目白に在住、95 歳であるが精力的な創作活動を続けている。

[詳細] 生涯学習課長 吉末 昌弘 内線 3 4 5 0

(6) 教育シンポジウムの開催【新規】

500 千円

教育委員会では平成 13 年度に「資料が語る教育豊島の一世紀」を発行しました。歴史に学び、さらに 21 世紀への展望を拓くため、学識経験者や教育関係者を招きシンポジウムを開催します。

* 区制施行 70 周年記念事業

[詳細] 指導室長 三田 一則 内線 3 4 9 0

(7) 大学サミットの開催【新規】

190 千円

区内には、立教大学・学習院大学・大正大学・東京音楽大学の 4 大学があります。これまで区は各大学と協力し、大学公開講座、庁舎ロビーコンサート、産学協同による商店街の活性化事業などを実施してきました。区制 70 周年を記念し、さらに大学との連携を深め、ともに地域文化の発展をめざす契機とするため、大学サミットを開催します。

内容 基調講演・区長と各大学長によるパネルディスカッション等
* 区制施行 70 周年記念事業

[詳細] 地域文化課長 荻原 美智子 内線 2 4 1 0

(8) みみずく資料の整理【新規】

3,854 千円

郷土玩具「すすきみみずく」に代表されるように、「みみずく」は雑司が谷のシンボルのひとつとして親しまれています。このたび、個人収集家より「みみずく」の人形や関連資料等のコレクションが区教育委員会に寄贈されることになり、散逸防止と活用化を図るため、資料の整理を行います。

整理した資料は、平成 16 年 4 月に完成予定の南池袋小学校新校舎に展示コーナーを設け、子どもたちの地域に対する愛着を醸成する資料として活用を図ります。

[詳細] 生涯学習課長 吉末 昌弘 内線 3 4 5 0

(9) 図書資料の充実 拡充

113,580 千円

図書館は平成 13 年度にホームページを開設し、インターネットによる資料検索サービスを開始しました。そうした IT 化に対応し、利用者が求める資料を確実に提供できるよう、蔵書の充実を図ります。

さらに、昨年 12 月「子どもの読書活動推進法」が施行され、読書を通じ子どもたちの豊かな心の成長を図るための推進活動が国や自治体の責務に位置づけられました。子どもたちの読書活動・学習活動を支援するため、児童書の購入費も拡充します。

図書購入費の拡充 一般書 各館 400 冊 (全 8 館)
児童書 中央館 80 冊 地域館 各 50 冊

[詳細] 中央図書館長 佐藤 正俊 内線 4 3 4 0

街の活力を生み出す

(1) ポイントカードシステム導入の支援【新規】 7,000 千円

区は、街づくりや情報化戦略を視野に入れた商店街の活性化計画として、「21 世紀商店街づくり豊島区振興プラン」を平成 13 年度に策定しました。このプランに則り、コミュニティ商店街事業（情報化推進事業）として、染井銀座商店街振興組合が実施するポイントカードシステム導入経費の一部を助成します。

同商店街は、これまで実施していたスタンプ事業からポイントカードシステムに移行することにより、商店街利用者の利便性の向上と、商店街のイメージアップ・販売促進を図ります。

事業内容

- ・カード読み取り端末機の設置（60 台）
- ・ポイントカードの作成
- ・加盟店シール及び周知用ポスター等の印刷

総事業経費 10,500 千円（うち区助成 7,000 千円）

[詳細] 生活産業課長 渡邊 文雄 内線 2 4 5 0

(2) 中小商工業融資の充実 拡充 138,156 千円

平成 4 年 7 月、中小企業の緊急不況対策として創設された「緊急特別資金」の実施期間を 1 年間延長します。また、「事業活性化資金」「災害事業活性化資金」「事業転換多角化資金」「店舗改装資金」の各資金の返済据置期間を 6 ヶ月から 12 ヶ月に延長します。

緊急特別資金

- ・資金使途 運転
- ・限度額 1,000 万円
- ・返済期間 84 ヶ月以内（据置期間 12 ヶ月を含む）
- ・利率 2.4% 以内（区負担 2.2% 本人負担 0.2%）
- ・貸付実績 198 件 1,113,730 千円（12 年度）

据置期間延長の対象となる融資

- ・事業活性化資金 限度額 1,000 万円 返済期間 72 ヶ月以内
- ・災害事業活性化資金 限度額 450 万円 返済期間 60 ヶ月以内
- ・事業転換多角化資金 限度額 1,500 万円 返済期間 84 ヶ月以内
- ・店舗改装資金 限度額 1,500 万円 返済期間 84 ヶ月以内

[詳細] 生活産業課長 渡邊 文雄 内線 2 4 5 0

(3) 区民が選ぶ名品名産 70 選【新規】

440 千円

区制施行 70 周年にあたり、豊島区が全国に誇れる名産品 70 点を区民及び消費者に郵便投票で選定してもらい、「豊島区ブランド」として認定します。

豊島区観光協会推奨品や伝統工芸士の手による製品等、区内産品の優れた技術と品質の高さに対する評価を高め、産業振興と区のイメージアップにつなげていきます。選定された名産品には認定証の発行し、「豊島区ブランド」として広く全国に発信し、販路開拓・拡張を図ります。

* 区制施行 70 周年記念事業

[詳細] 生活産業課長 渡邊 文雄 内線 2 4 5 0

(4) 中山道開道 400 年祭への助成【新規】

4,500 千円

「おばあちゃんの原宿」として知られる巣鴨地蔵通りから庚申塚を経て板橋に抜ける道筋は、旧中山道にあたります。中山道は、東海道とともに江戸と京都を結ぶ江戸時代の重要な幹線道路で、街道口にあたる巣鴨は江戸時代より賑わい、区内でももっとも早く開けた土地です。

平成 14 年はその中山道の開道 400 年にあたり、巣鴨地蔵通り商店街振興組合他 7 商店街が実施する 400 年祭イベント事業経費の一部を助成します。例年行っている「巣鴨中山道菊まつり」を拡大し、江戸町並みの再現、中山道歴史展、大名行列等を実施します。長期間にわたるよりインパクトの強いイベントを展開し、商店街の活性化と集客数の増加を図ります。

総事業経費 6,750 千円 (うち区助成 4,500 千円)

* 区制施行 70 周年記念事業

[詳細] 生活産業課長 渡邊 文雄 内線 2 4 5 0

(5) 観光事業の充実 (観光パンフレットの作成) 拡充

5,141 千円

豊島区観光協会が制作・発行する区内観光パンフレット「ゴー・ゴーマップ」の作成経費の一部を助成します。民間企業やショップ・飲食店など役立つ観光情報を地域別にマップ形式で紹介するガイドパンフレットで、最新情報を提供するため 3 年に 1 回内容を改定して発行しています。また、豊島区は池袋を中心に外国人観光客が多く、今年はワールドカップ開催年にあたり、合わせて作成する英語版を広く活用します。

観光パンフレットの作成

日本語版 30,000 部

英語版 5,000 部

[詳細] 生活産業課長 渡邊 文雄 内線 2 4 5 0

2. 区政の新たな扉を開く

2.1 世紀の区政をデザインする

(1) 新長期計画の策定【新規】

12,716 千円

平成12年度に基礎的自治体として新たにスタートした豊島区は、時代のニーズに対応した新しい行政運営が求められています。現在の社会経済状況に即し、現時点での区民ニーズを反映した新たな基本構想・基本計画を平成14・15年度の2カ年で策定します。

各種調査の実施（区民意識調査、人口推計・人口フレーム作成、施策の現状調査等）
庁内検討会、区民・学識経験者・議員・職員で構成する審議会の運営
広報特集号の発行

[詳細] 企画課長 郡司 信興 内線 2110

(2) 再掲文化・芸術振興ビジョンの策定【新規】

1,556 千円

文化の風薫る都市をめざし、文化・芸術振興に対する展望を示す基本方針「文化・芸術振興ビジョン（仮称）」を策定します。

豊島区は、近代以降の都市化過程において、大学を中心とする学園都市として、また長崎アトリエ村の芸術活動や「赤い鳥」児童文学活動、さらには演劇・映画等大衆文化活動の拠点として、数々の文化・芸術エネルギーを内包しながら発展してきました。一方、近年の社会経済環境の変化により、区民の価値観も多様化し、心の豊かさを求める声が高まっています。こうした状況の中、区政のさまざまな課題の実現と同時に、豊島区独自の文化的土壌を育み、豊かな潤いある都市として、区民の誇れる「ふるさと豊島」を創生していくことが、21世紀に向けた区の大きな目標であると考えます。

これまでの文化行政の在り方を見直し、新たな文化的都市の創生への展望を拓くため、公募による区民を含む策定委員会を設け、振興ビジョンを策定します。

策定委員会の設置

- ・ 構成 区民・学識経験者等 19名
- ・ 設置時期 平成14年7月（予定）

[詳細] 地域文化課長 荻原 美智子 内線 2410

(3)男女共同参画社会の実現

2,495 千円

男女共同参画都市宣言【新規】

(611 千円)

一人ひとりの人権が男女ともに尊重され、多様な生き方を選択でき、個性を生かし能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会の実現」に向けて、区民の気運を広く醸成することが求められています。区の取り組み姿勢を示すため「男女共同参画都市宣言」を実施し、これを記念して啓発事業を行います。

啓発事業の内容

- ・ シンポジウム（講演会）の開催と小中学生の作文コンクールの実施
- ・ 女性による模擬議会の開催
- ・ 懸垂幕の作成、ポスター・パンフレットの印刷

[詳細] 男女共同参画推進課長 山内 和久 内線 2 2 2 0

男女平等推進センター相談の充実 拡充

(1,884 千円)

DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する相談件数は現在でも増加の傾向にありますが、DV防止法の浸透に伴って一層の増加が予想されます。被害者が、精神的・身体的虐待を自らDVとして認識し、DVに立ち向かう自己決定力を回復することを目的として専門のカウンセラーによるDV相談を実施します。

DVに関する相談窓口 月1回（1日3時間）

[詳細] 男女共同参画推進課長 山内 和久 内線 2 2 2 0

(4)法定外税検討会議の設置【新規】

1,900 千円

「放置自転車等対策税」や「ワンルームマンション税」の創設に向けて、有識者等による会議体を設置します。会議では、経済的効果、社会的影響、区民の意向、当該法定外税に係る政策課題など様々な観点から多角的な検討を行います。

委員 学識経験者、区民、鉄道事業者、建築士団体、自転車小売業団体、他
開催 年5回程度

[詳細] 税務課長 吉川 彰宏 内線 2 3 1 0

(5)保健福祉基盤整備支援基金の創設【新規】

284,872 千円

介護保険制度の施行以来、特別養護老人ホーム等の施設整備に民間社会福祉法人等の参入が盛んになり、区としても民設方式の福祉基盤整備を推進しています。これまで区立施設の整備に充当する目的で設置していた「豊島区立高齢者福祉施設整備基金」を平成 13 年度末で廃止し、区内に福祉施設などを整備する社会福祉法人等に対して整備費の一部を助成するため、新たに基金を創設します。

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

(6)地域保健・福祉の計画化

25,607 千円

地域福祉計画の策定【新規】

(7,197 千円)

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉及び保健医療の全分野にわたる総合的な計画を平成 1 4 ・ 1 5 年度の 2 年間で策定します。分野別既存計画との連携を図りながら、高齢者、障害者、児童の権利擁護と苦情相談に関する事項を盛り込みます。計画の策定にあたっては、地域住民、社会福祉事業の経営者、社会福祉に関する活動を行う者及び行政が参加した検討委員会を設置し、検討を行います。

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

第 2 期高齢者支援としまプラン 2 1 の策定【新規】

(1,300 千円)

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を内容とする高齢者支援としまプラン 2 1 (平成 1 2 年 3 月策定) が改定期を迎えるため、急速な高齢化の進展や介護保険制度の実施等の状況を踏まえ見直しを行います。

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

第 2 期介護保険事業計画の策定 拡充

(15,787 千円)

3 年ごとに見直すことが定められている介護保険事業計画 (平成 1 2 年度 ~ 平成 1 6 年度) の見直しを行い、平成 1 5 年度からの第 2 期計画を策定します。計画には介護保険サービスの見込量や事業費の推計を盛り込みます。

[詳細] 介護保険課長 東澤 昭 内線 2 7 8 0

保健医療計画の改定【新規】

(1,323 千円)

区の特性や実情に応じた保健医療サービスを推進するとともに、保健・医療・福祉の連携強化等具体的施策を推進するため、改定期を迎える保健医療計画 (平成 1 0 年度 ~ 平成 1 4 年度) の見直しを行います。平成 1 4 年度は計画策定の基礎となる「健康としま 2 1 プラン」を策定し、平成 1 5 年度に保健医療計画の改定を行います。

[詳細] 地域保健課長 陣野原 伸幸 内線 5 5 6 0

(7) 新たな住宅マスタープランの策定【新規】

8,500 千円

地域特性に応じた住宅施策を総合的・計画的に推進するため、住宅及び住環境の現状と問題点を調査・分析し、住宅マスタープラン（平成 8 年度に策定）を改定します。地域高齢者住宅計画の策定や市街地整備プログラム、個別ヒヤリング調査を実施し、具体的な施策を展開します。

また、新たな住宅白書を作成します。

[詳細] 住宅課長 齊藤 雅人 内線 2 8 5 0

(8) 経験者採用（リカレント非常勤）制度の創設【新規】 4,442 千円

これからの区政運営には、区民感覚や民間の経営感覚と乖離することのない公務におけるプロ意識と経営感覚が求められています。

従前の発想にとらわれない区政を展開するとともに、業務の多様化・複雑化に対応するため、企業経験者を非常勤職員として採用し、その能力・経験を公務に活用します。

概要

対象	採用予定数	勤務条件	
		月あたり勤務日数	報酬（月額）
40 歳以上 51 歳未満の民間経験者	2 名	20 日以内 （128 時間）	187,200 円
51 歳以上 60 歳未満の民間経験者	1 名		200,000 円

[詳細] 人事課長 松崎 充彦 内線 2 2 4 0

(9) 行政評価制度の推進 拡充

6,785 千円

成果重視の区政への転換を図るとともに区民本位の行政サービスを提供するため、新たに施策・政策評価を実施します。施策・政策評価は「成果指標」(行政活動によって区民生活に生じるプラスの効果を客観的に測定可能な数値で表すもの)を用いて施策や事業の現状把握を行い、目的を達成するためにはどのような方策が有効であるかを検討するとともに、事務事業に優先順位を付け、予算の重点的な配分を行おうとするものです。評価にあたっては、区民満足度調査を実施するとともに、客観的評価を行うため外部評価委員会を設置します。また、行政評価条例の制定を検討します。

[詳細] 行政管理課長 三木 暁朗 内線 2 1 5 0

(10) 区民活動への助成【新規】

3,000 千円

自主的な区民グループの活動を支援するため補助金を交付することにより、さまざまな分野における区民活動の活性化を促進し、区民との協働を図る豊島区の実現を目指します。公募によって新たに交付申請を受け付け、補助金等審査委員会の審議を経て補助対象を決定します。

今回は、現在区の補助を受けていない先駆性・独創性に富んだ事業を補助対象とします。

補助予定事業数 おおむね 1 5 事業

交付申請限度額 補助対象経費の 5 0 % 以内の額とし、1 0 万円以上 3 0 万円を限度額とする

補助対象事業 保健・医療・福祉、まちづくり、文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成など
区民生活の諸分野にかかわるもので、地域づくり及び区民の福祉の推進に資することが期待できる事業

[詳細] 行政管理課長 三木 暁朗 内線 2 1 5 0

スリム・スピーディーなシステムを築く

(1) 情報化基盤の整備 拡充 136,229 千円

「電子自治体」の基盤として、今年度に引き続き市内 LAN（ローカル・エリア・ネットワーク）の構築を進め、迅速な情報の伝達と共有によって事務の簡素化・効率化を推進します。

また、図書予約情報システムを導入し、インターネットを通じて自宅のパソコンや携帯電話の i モードから図書の予約ができるようにします。

年度計画

14 年度 図書予約情報システムの導入

15 年度以降 文書管理システムの導入、財務会計システムの導入、
総合行政ネットワーク（LGWAN）の構築

[詳細] 情報管理課長 加藤 芳成 内線 2 1 6 0

(2) 豊島区ホームページの充実 拡充 1,324 千円

・バナー広告掲載

インターネット利用者数の増加に伴い、ホームページ上への広告掲載効果が高まっていることから、ホームページ上に有料の広告を掲載します。区内企業・法人等を中心に広告掲載希望者を公募し、広告掲載スペースに掲載して区の歳入確保と地域振興を図ります。

掲載件数 14 年度 5 件 / 月 × 9 月 = 延べ 4 5 件

開始時期 7 月

・携帯電話による情報提供

区民がいつでもどこでも容易に必要な情報を得ることができるよう、携帯電話を活用してイベント情報、募集案内、区有施設の電話番号等の情報提供を行います。

情報量 月 7 5 件程度 月 3 回更新

[詳細] 広報課長 小野 温代 内線 2 1 3 0

(3) 障害者福祉支援費制度への移行準備【新規】 17,456 千円

15 年度には、行政が行政処分によってサービスの受け手を特定しサービス内容を決定する「措置制度」から、障害者がサービスを選択し事業者と直接契約を行ってサービスの提供を受ける「支援費制度」に移行します。この「支援費制度」の実施に向けて、保健福祉センター、障害者福祉課、子育て支援課などのオンライン電算システムを修正するとともに、障害者に対して制度の説明を行います。

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

(4) パソコン講座・IT 基礎講習等の実施【新規】 4,889 千円

自宅等でパソコンに触れる機会のない区民のために、社会教育会館や中央図書館などに区民利用端末を設置します。また、パソコンの基本操作やインターネット・電子メールの利用など、IT の基礎技能を日常生活の中で活用できるように、教育センター等の公共施設において、パソコン講座・IT 講習を実施します。

区民利用端末 社会教育会館各 1 台、中央図書館など計 13 台を設置

PC 講座 24 回 (1 回 12 時間)

IT 講習 4 回 (1 回 12 時間)

[詳細] 生涯学習課長 吉末 昌弘 内線 3 4 5 0

(5) 図書館の IT 活用の調査【新規】 1,000 千円

平成 18 年度の新中央図書館開設に伴い、インターネット時代の新しい図書館サービスを展開するため、活用可能な電子機器・技術の調査を図書館専門家により実施します。

調査内容

電子メールを用いた図書相談とデータベース化

商用新聞・雑誌データベースの活用

特定テーマごとに有用サイトを集めたリンク集の作成

[詳細] 中央図書館長 佐藤 正俊 内線 4 3 4 0

(6)点字図書館サービスの充実 拡充 13,799 千円

視覚障害者のための情報ネットワーク（ないぶネット）サービスを活用し、自宅のパソコンからインターネットで全国の点字図書館の蔵書検索・予約ができるようにします。

[詳細] 中央図書館長 佐藤 正俊 内線 4 3 4 0

(7)小学校の給食調理業務の委託 拡充 61,209 千円

給食調理業務の民間業者への委託を拡大します。委託にあたっては、各校の既存給食調理施設を使用し、献立作成・食材調達は学校が行い、調理作業のみ民間委託する「自校委託方式」を採用します。

平成 1 4 年度新規委託校 2 校
仰高小学校、池袋第三小学校
委託校の状況（平成 1 4 年度予定）
小学校 2 5 校中 4 校
中学校 1 1 校全校

[詳細] 学務課長 鈴木 公一 内線 3 4 3 0

(8)図書館奉仕員制度の推進 拡充 159,085 千円

司書資格等専門的知識を持つ図書館奉仕員（非常勤職員）の活用により、サービスの向上と運営の効率化を図ります。

図書館奉仕員 12 名増員 計 48 名

[詳細] 中央図書館長 佐藤 正俊 内線 4 3 4 0

3. 子どもたちの笑顔を紡ぐ

子どもたちの生活空間を広げる

(1) 子ども白書の作成【新規】

883 千円

0～18歳の子どもたちを取り巻く状況・生活実態・意識等について、子どもと保護者の双方に対してアンケート調査を行い、あわせて子どもに関する諸統計・資料・行政施策を分析し「子ども白書」を作成します。子どもたちの現状を把握し、実態に則した子ども施策を展開していくための基礎資料として活用します。

アンケート調査

- ・ 調査対象 3,000人 小学生、中学生、高校生及びその保護者

[詳細] 青少年課長 佐藤 純二 内線 2740

(2) プレーパークの開設準備【新規】

2,361 千円

子どもたちがのびのびと遊べる自然な原っぱ的空間（プレーパーク）を区内数カ所に開設するため、関係職員で構成する内部検討組織「整備検討委員会」（仮称）を設置し、開設に向けた企画案をまとめます。

急速な都市化の著しい豊島区では、子どもたちが木や土などの自然と親しみながら自由に遊べる空間が不足しています。木登りや穴掘りなどの遊びを通したさまざまな実体験は、子どもたちの心身の成長にとって大きなエネルギーとなります。新世紀を担う子どもたちの健全育成のため、自然にあふれた広場空間としてのプレーパークの16年度開設をめざします。

開設スケジュール（予定）

- ・ 14年度
整備検討委員会（仮称）の設置：関係職員 15名程度
用地の調査選定、名称とあり方等「企画案」の作成
- ・ 15年度～16年度
プレーパーク開設区民会議（仮称）の設置：青少年関係団体、青少年、ボランティア等
「企画案」をたたき台とし「計画書」を作成
運営主体の形成・整備
住民ボランティア等による自主運営委員会の組織化、運営要綱等の作成

* 区制施行70周年記念事業

[詳細] 青少年課長 佐藤 純二 内線 2740

(3) 中学生居場所づくり事業の実施【新規】

270 千円

平成 14 年度から実施される学校週 5 日制に対応するため、学校施設と地域の人材を活用した中学生の居場所づくり事業を実施します。

学校開放事業の一環として、土曜休校日の教室を行き場の限られた中学生の活動の場として開放します。地域の高齢者クラブ等ボランティアの協力により、囲碁や将棋の教室を開催するなど、生徒の希望を汲み上げつつ、学校施設を有効活用することにより、学習機会の提供と意欲の向上に努めます。

対象校 1 校 約 30 人程度

[詳細] 生涯学習課長 吉末 昌弘 内線 3 4 5 0

(4) 中学校地域クラブの育成モデル事業の実施【新規】

2,040 千円

平成 14 年度から実施される学校週 5 日制に対応し、中学生の活動の場を確保するとともに、スポーツへの参加機会を拡大するため、土曜休校日の学校体育施設（校庭、体育館等）を活動拠点とするスポーツクラブを開設します。

中学生の居場所作り、部活動の補完機能と同時に、生涯にわたり自分に合ったスポーツを地域の中で楽しむ拠点となる総合型地域スポーツクラブのモデル事業と位置づけ、クラブ創設に向けた基礎づくりを行います。そのため、当面は当該校の生徒を対象としますが、漸次会員を地域の中にも広げていく予定です。また、クラブの運営に関しても、学校管理外事業として、体育指導委員、学校開放委員、青少年育成委員、地域住民等から構成される組織を新たに設け、区民による自主運営を推進します。平成 14 年度はモデル事業として、3 校程度で実施する予定です。

[詳細] スポーツ振興課長 石川 裕 内線 3 4 8 0

(5) 子ども虐待防止ネットワーク事業 拡充

271 千円

近年増加・顕在化が著しい子どもの虐待問題に対し、関係機関によるネットワークの連携強化を図るため、区職員を東京都児童相談センターに派遣し、実務研修などを通じて児童虐待に関する知識と問題解決能力の向上を図ります。

区では、急増する虐待問題に対応し、平成 12 年 6 月、区関連職員と警察、都児童相談センター、民生・児童委員、人権擁護委員、家庭裁判所調査官、私立幼稚園・保育園等、子どもに係わる関係機関の担当で構成される「豊島区子ども虐待防止連絡会議」を立ち上げました。同連絡会議は、それぞれの役割分担を明確にする中で、児虐待童の早期発見と迅速かつ的確な対応を組織的に行うためのネットワークづくりを進め、その成果を 23 区初の「子ども虐待防止対応マニュアル」として昨年 7 月まとめました。

虐待事例に対し組織的なケースマネジメントを行うにあたっては、とりわけ区と都児童相談センターの緊密な連携が不可欠です。さらなる連携の強化に向け、また区職員のスキルアップを図るため派遣研修を実施します。

[詳細] 子育て支援課長 桐生 建樹 内線 2 7 2 0

(6) 認証保育所への助成【新規】

29,453 千円

平成 13 年度に創設された「東京都認証保育所制度」に基づき、本年 3 月大塚駅前に認証保育所が開設されます。認証保育所の運営経費は、都が定めた基準に基づき、年齢別の入所児童数に応じて入所児童の居住区である自治体が助成することになっています。そのため、当該保育所及び近隣区の保育所への運営費助成を行います。

認証保育所は、都が独自の基準で認証する保育所制度です。待機児童の解消と大都市特有の多様な保育ニーズに応えるため、駅前型を基本に 0 歳児保育・13 時間以上の保育を実施します。

区内施設 アップルナースリー大塚園（平成 14 年 3 月 1 日開設予定）

北大塚 1 - 17 - 9 平松ビル 2 階

児童定員 26 名（0 歳児：6、1 歳児：6、2 歳児：7、3 歳以上：7）

[詳細] 保育園課長 大門 一幸 内線 2 7 1 0

(7) 民間保育施設整備の助成【新規】

140,253 千円

雑司谷小学校跡地を活用した福祉基盤整備の一環として、民間保育所事業者（社会福祉法人・認可保育園）を誘致し、その用地費全額を助成します。

開設予定の保育園では、0歳児保育（産休明け保育）夜10時までの延長保育、一時保育、休日保育、病後児保育等、多様な保育ニーズに対応するサービスを実施します。そうしたきめ細かなサービスを民間活力の導入により展開し、区の保育環境の向上を図ります。

助成内容

- ・ 用地費 地上権取得費用の全額

新設保育所の規模等

- ・ 22階建建物の1階部分 建設面積約900㎡ 園庭600㎡
- ・ 定員 120名（0歳児：15、1歳児：18、2歳児：20、3歳児：22、4・5歳児：45）

[詳細] 保育園課長 大門 一幸 内線2710

(8) 障害児保育の充実 拡充

5,742 千円

公立保育園の障害児保育を充実させるため、非常勤職員（心理職）を1名増員します。

現在、障害児の保育園への入所審査業務、発達相談業務及び各保育園や児童館への巡回観察指導等各種業務は、正規職員（心理職）1名で対応しています。近年、障害児及び経過観察児が増加傾向にあるため、非常勤の保育園巡回観察指導員（心理相談員）1名を新たに配置し、障害児保育の充実を図ります。これにより、現在2カ月に1回程度の保育園巡回業務を1カ月1回程度に増やします。

[詳細] 子育て支援課長 桐生 建樹 内線2720

学校・学習環境を整備する

(1) 少人数教育モデル事業の実施【新規】

15,132 千円

少人数教育のモデル事業として、小学校 1 年生を対象に学級児童数（平均）が 30 人を超える学年に、臨時指導員を配置し、少人数による「学習集団」の特性を活かした学習活動を展開します。

現行の学級編制基準は 1 学級 40 人ですが、必要に応じて学級規模を下回る「学習集団」を編成することが可能になりました。このため、各自治体でも少人数教育の独自の取り組みが進められています。教科や学習内容によっては、少人数によるきめこまかな学習活動が有効であり、小学校入学時に配慮した独自の取り組みとしてモデル事業を実施します。

指導員数 10 人

実施日数 201 日

[詳細] 学務課長 鈴木 公一 内線 3 4 3 0

(2) 総合的な学習の時間の推進 拡充

14,465 千円

平成 14 年度から本格実施の新学習指導要領の「総合的な学習の時間」を推進し、子どもたちの自ら学ぶ力や自ら考える力を育くむためのカリキュラムの開発及び評価プログラムの作成を行います。

それぞれの学校の地域性や児童・生徒の実態に応じて、各校が自主的にカリキュラムを作成できるよう、柔軟な枠組みで実施予算を各校に配分します。

実施時間

・小学校 3～6 学年 年間 105～110 時間

・中学校 1～3 学年 年間 70～130 時間

[詳細] 指導室長 三田 一則 内線 3 4 9 0

(3) 外部講師の活用

5,893 千円

豊島スクールスタッフの充実 拡充

(3,943 千円)

新学習指導要領による教科・総合的な学習などの大きな目標のひとつは、主体的・体験的な学習活動を通じ、子どもたちの生きる力を養い育てることです。そのためには、既存の教科の枠組みにとらわれない、創意工夫に充ちた特色ある教育活動の実践が必要であり、その実施にあたっては、ゲストティーチャー等、学校外の教育力の導入が不可欠です。

様々な能力を持った人材を「スクールスタッフ」(教育活動支援要員)として活用するため、現在実施している地域講師の招聘事業等と統合し、一般公募によりスタッフを登録し、その人材データベースを作成します。各学校の希望する学習内容やテーマ、子どもたちの興味・関心に応じ、学習活動に適した人材をスタッフとして派遣します。

派遣日数 年間 100 日 (6 時間 / 1 日)

外国人講師の学校派遣の充実 拡充

(1,950 千円)

新学習指導要領で新設される「総合的な学習の時間」の中で、外国語会話の学習の充実を図るため、各小学校への外国人講師の派遣回数を拡充します。ネイティブな外国語に慣れ親しみ、心のふれあいを大切に交流活動を通して、子どもたちの異文化理解、国際理解を深めます。

派遣回数 平成 13 年度：年 3 回 平成 14 年度：年 5 回

[詳細] 指導室長 三田 一則 内線 3 4 9 0

(4) 情報教育研修の充実 拡充

25,229 千円

区立小・中学校教員を対象に、パソコン講師を派遣し、パソコン技能習得のための研修を実施します。

区教育委員会は、平成 13 年度中に教育委員会ホームページを開設し、各学校ごとに自主制作した学校案内をインターネットで公開する予定です。

インターネットを活用した学習活動の展開や、特色ある学校づくりの推進、さらに隣接校選択制のための情報提供に資することを目的として、学校ホームページを充実させていきます。随時新しい情報を提供していけるよう、ホームページ更新作業も大きな研修テーマとします。

[詳細] 指導室長 三田 一則 内線 3 4 9 0

(5) スクールカウンセラー派遣の充実 拡充

5,198 千円

いじめや不登校など、子どもたちがかかえる心理的な問題に対応するため、臨床心理に関して高度な専門知識・経験を有するカウンセラーを区立小・中学校に派遣します。

ますます多様化、複雑化する児童・生徒の問題行動等を未然に防ぐとともに、LDやADHD等の児童・生徒への適切な指導のあり方を教員に助言します。また、継続的なカウンセリングにも対応できるよう、派遣カウンセラーを2名から3名に増員します。

[詳細] 指導室長 三田 一則 内線 3 4 9 0

(6) 小中学校の適正配置

778,312 千円

南池袋小学校の建設【新規】

(720,879 千円)

高田小学校、雑司谷小学校、日出小学校を統合し、平成 13 年 4 月に開校された南池袋小学校の新校舎を建設します。平成 14 年度は 4 年計画の 3 年次目として、建設工事を着工します。

所在地 南池袋 3 - 18 - 12 (旧雑司谷中学校、現千登世橋中学校校舎跡地)

- ・敷地面積 9,704 平方メートル
- ・延床面積 6,200 平方メートル (体育館、プールをのぞく)

完成 平成 16 年 2 月 (予定)

- ・平成 13 年度 実施設計
- ・平成 14 年～15 年度 建築工事

主な特色

- ・「ゆとり」の中で「生きる力」を育むという理念に沿い、ひとりひとりの児童の個性を活かす教育活動にふさわしい環境づくりをめざします。
- ・教室の形態はオープンスペース型を基本として、合同・異学年・グループ授業等、多様な学習に対応できるよう配慮します。
- ・太陽光、風力を活用した発電システム、屋上緑化、雨水を利用した中水システムなど、地球環境に配慮します。(エコスクールモデル事業)
- ・自然に親しみ、環境を大切にすることを育み、自然保護・環境保護活動を体験学習できるよう、学校ビオトープをつくります。
- ・起伏に富んだ地形、樹木など既存の自然資源を生かしています。

[詳細] 庶務課長 岡田 正氣 内線 3 4 1 0

新中学校の建設【新規】

(43,299千円)

平成16年4月第十中学校と千早中学校を統合し、さらに平成18年4月に長崎中学校を加え3校を統合して新設する中学校の新校舎を建設します。平成14年度は4年計画の1年次目として、地質調査と基本設計を実施します。

所在地 長崎5-31-29(現千早中学校校舎跡地)

完成 平成18年2月(予定)

- ・平成14年度 地質調査、基本設計
- ・平成15年度 実施設計
- ・平成16年～17年度 建築工事

[詳細] 庶務課長 岡田 正氣 内線3410

小中学校の適正配置の推進 拡充

(14,134千円)

児童・生徒数の減少が進む中、子どもたちがより充実した学校生活を送ることができるよう、学校の適正規模を確保するとともに、その適正配置を図ります。平成13年10月に改定した「豊島区立小中学校の適正化第一次整備計画」に基づき、小規模化した小中学校の統合を行います。

「豊島区立小中学校の適正化第一次整備計画」(平成8年度策定、平成13年度改定)

平成9年度～18年度までの10か年で、小学校29校のうち11校を5校に、
中学校13校のうち9校を4校に統合する。

- ・小学校 29校 23校
- ・中学校 13校 8校

平成14年度対象校

- ・小学校2校(千川、大成小学校)を統合し、さくら小学校を開校(平成14年4月)

平成15年度対象校

- ・小学校2校(時習、大塚台小学校)を統合し、新小学校を開校(平成15年4月予定)

[詳細] 学校適正配置課長 齊藤 忠晴 内線3460

(7) 中学校冷暖房機の設置【新規】

144,900 千円

区立中学校 11 校中、普通教室に冷房が未設置の 9 校に冷暖房機を設置します。

地球温暖化やヒートアイランド現象により、夏季における学習環境が悪化しています。生徒がのびのびと学習できる快適な空間を整備します

設置場所 中学校 9 校（冷房未設置校）

設置台数 63 台（各普通教室）

[詳細] 庶務課長 岡田 正氣 内線 3 4 1 0

(8) 耐震補強対策【新規】

456,384 千円

区立小中学校を対象に実施した耐震診断の結果に基づき、地域の避難センターとしての機能もあわせ持つ学校施設の安全性を確保するため、補強工事を実施します。

小学校 補強工事 5 校 駒込・巣鴨・池袋第二・池袋第五・椎名町小学校

補強設計 4 校 池袋第一・高南・目白・長崎小学校

中学校 補強設計 3 校 駒込・池袋・千川中学校

[詳細] 庶務課長 岡田 正氣 内線 3 4 1 0

4 . 健康と安心な暮らしをサポートする

地域福祉のシステムを築く

(1) 再掲保健福祉基盤整備支援基金の創設【新規】 284,872 千円

介護保険制度の施行以来、特別養護老人ホーム等の施設整備に民間社会福祉法人等の参入が盛んになり、区としても民設方式の福祉基盤整備を推進しています。これまで区立施設の整備に充当する目的で設置していた「豊島区立高齢者福祉施設整備基金」を平成 13 年度末で廃止し、区内に福祉施設などを整備する社会福祉法人等に対して整備費の一部を助成するため、新たに基金を創設します。

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

(2) 保健福祉基盤整備への助成【新規】 375,882 千円

高齢者や障害者などが住み慣れた地域の中で安心して住み続けることができるよう、区内に福祉施設を整備する社会福祉法人や医療法人などに対し、事業費の一部を補助します。

実施基準

特別養護老人ホーム等 都の補助基本額の 1 / 8
介護老人保健施設 1 床あたり 200 万円 等

整備地区

特別養護老人ホーム 南池袋 3 丁目地区
介護老人保健施設 南池袋 3 丁目地区

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

(3) 介護保険事業の充実

介護保険料の独自減額制度の創設【新規】

(0 千円)

第 1 号被保険者(65 歳以上)のうち、生活保護基準と同等程度の生計困難者に対し、区独自の介護保険料の減額制度を設けることにより、負担の軽減を図ります。

保険料第 1 段階：半額

年額 17,891 円 8,945 円

保険料第 2 段階：第 1 段階の額

年額 26,836 円 17,891 円

[詳細] 介護保険課長 東澤 昭 内線 2 7 8 0

介護サービス評価事業の実施【新規】

(2,953 千円)

介護サービスの質を客観的に評価する仕組みを構築し、利用者が適切にサービスを受けられるよう支援します。同時にサービス改善に向けた事業者の主体的な取り組みを促進し、介護サービスの質の向上を図ります。

手法 事業者の自己評価の実施：区が作成した統一的な自己評価票により各事業者が自己評価を行います。

利用者評価の実施：サービス内容、水準、提供方法等についての評価を利用者にアンケート調査します。

第三者評価の検討：サービスの当事者以外から構成される第三者機関による評価の仕組みについて、国や都の動向を踏まえ検討します。

[詳細] 介護保険課長 東澤 昭 内線 2 7 8 0

介護相談員事業の実施【新規】

(1,717 千円)

民生委員やボランティア等による介護相談員事業をモデル事業として実施します。訪問相談等を実施することで、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等の介護サービス利用者が、相談や意見を言いやすい環境づくりを進めます。埋もれている相談・苦情を拾い上げ解決に結び付けていくとともに、区民による事業者やサービスの見守り活動とします。

介護相談員 12 名

[詳細] 介護保険課長 東澤 昭 内線 2 7 8 0

(4)福祉サービス権利擁護センターの開設準備【新規】 1,943 千円

福祉サービスはこれまでの措置制度から利用者主体の契約制度へと転換していますが、一方痴呆性高齢者、知的障害者、精神障害者などが権利侵害の危険にさらされやすく、また権利侵害の被害を受けても発見されにくいという状況が生じています。このことから、福祉サービス利用のPRや苦情相談への対応、成年後見制度の啓発及び相談事業などを検討・実施します。

対象者 虚弱高齢者、痴呆性高齢者、身体・知的・精神障害者 他
実施方法 検討委員会の設置、報告書の作成
区民への普及啓発

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

(5)在宅介護支援センターの充実 拡充 25,899 千円

在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所を併設する4施設について、職員1名体制を介護支援専門員（非常勤）2名体制に転換します。これにより、在宅介護に関する総合的な相談対応、介護保険の訪問調査、ケアプランの作成などの業務の充実を図ります。

高齢者福祉センター、駒込ことぶきの家、南長崎第一ことぶきの家、高松ことぶきの家

[詳細] 高齢者福祉課長 獅子野 秀美 内線 2 6 3 0

(6)福祉のまちづくりの普及推進 拡充 10,403 千円

区民、事業者、行政の協働による福祉のまちづくりを推進するとともに、広域的な調査のもと、福祉のまちづくりガイドマップの改訂を行います。また、想定される重点整備地区について、より具体的項目の調査を実施します。

対象者 地域住民及び事業者
実施方法 福祉のまちづくりガイドマップの改訂
重点整備地区実態調査等の実施

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線 2 6 1 0

(7) 鉄道駅エレベーター等設置事業への助成【新規】 73,666 千円

都と区、鉄道事業者が協働して、すべての人が円滑に社会参加できる都市環境を創出し、地域における福祉のまちづくりを推進するため、JR 池袋駅のエスカレーターの設置に伴う整備費の一部を助成します。

設置箇所・数 JR 池袋駅に車椅子対応型エスカレーター4基

助成対象者 JR 東日本

補助基準 助成対象経費の1/3以内(うち都1/2)

[詳細] 管理調整課長 川向 良和 内線2610

健康で自立した生活を支援する

(1) 高齢者の住居環境の整備

高齢者向け優良賃貸住宅の供給【新規】 (3,000 千円)

高齢者が安心して住める賃貸住宅の供給を促進するため、バリアフリー化され緊急時対応サービスを備えた賃貸住宅を建設する民間事業者に補助を行うとともに、入居者に対しても一定の家賃補助を行います。

現在、雑司谷小学校跡地の福祉基盤整備の中でも 27 戸の計画を進めており、今回は新たに 15 戸を供給します。

14 年度の新規戸数 15 戸 (単身者用)

[詳細] 住宅課長 齊藤 雅人 内線 2 8 5 0

高齢者等に対する賃貸住宅入居支援【新規】 (2,665 千円)

取り壊し、立ち退き等により、民間賃貸住宅への転居を希望する高齢者等に対して民間賃貸住宅のあっせんを行います。あっせんにあたっては、宅地建物取引業協会豊島区支部と連携し、賃貸住宅の登録制度を創設します。住宅を登録した家主に対してはバリアフリーリフォーム助成を行います。また、身元保証人のいない高齢者に対しては国の家賃保証制度・東京都のあんしん入居制度を活用するとともに福祉施策とも連携を図り、入居が円滑に行えるように支援します。

賃貸住宅バリアフリーリフォーム助成 2,000 千円

(家主 1/3・国 1/3・都 1/6・区 1/6)

制度利用者(高齢者)に対する助成金

家賃保証・保険料助成 435 千円

[詳細] 住宅課長 齊藤 雅人 内線 2 8 5 0

(2) 高齢者入院衛生用品購入費の助成【新規】 890 千円

介護保険施設の入所待機者のうち入院している高齢者に対して入院衛生用品購入費の一部を助成し、高齢者の経済的負担の軽減を図ります。

1 ヶ月 4,000 円以内 (平成 14 年 10 月 1 日開始)

[詳細] 中央保健福祉センター所長 小林 サチエ 内線 2 6 9 5

(3) 障害者の自立支援

障害者就労支援センター「れいんぼう」の開設【新規】 (28,887 千円)

駒込福祉作業所分室(旧池袋授産場)を「障害者就労支援センター」として整備し、一般就労を希望する在宅の障害者や企業等に在職している障害者を対象に職業相談、職場定着支援、地域における就労支援ネットワークの整備などを行います。また、駒込・目白両福祉作業所から 10 名程度の利用者を行き、公園清掃や放置自転車再生作業などを通して就労面と生活面の支援を行います。

[詳細] 障害者福祉課長 永田 謙介 内線 2 6 2 0

障害者地域自立生活支援センターの充実 拡充 (32,233 千円)

心身障害者福祉センター(障害者地域自立生活支援センター)や東西子ども家庭支援センターなどをバス停方式で結び、中型リフト付バスを巡回して障害のある利用者の足の便を確保します。同時に機能回復訓練や発達支援事業を含めた 3 センターの利用を促進します。

[詳細] 障害者福祉課長 永田 謙介 内線 2 6 2 0

(4) 精神障害者ホームヘルプサービスの充実 拡充 4,295 千円

区内の精神障害者を対象にホームヘルパーを派遣し、精神障害者の自立と社会参加を促進します。平成 13 年度は 6 名の対象者で試行的に実施しており、14 年度からは本格実施となります。

対象者 18 名を想定

内 容 家事援助等、相談

[詳細] 中央保健福祉センター所長 小林 サチエ 内線 2 6 9 5

(5) 知的障害者グループホームの充実 拡充 10,554 千円

知的障害者の保護者が用意した建物の一部を社会福祉法人が賃借して設置する知的障害者グループホームの運営費を補助します。平成 12 年 9 月に開所した「レヂオンス巣鴨」に続いて 2 ヶ所目となります。

開所時期 14 年 9 月

入居人数 4 人

設置・運営 (福) 恩賜財団 東京都同胞援護会

[詳細] 障害者福祉課長 永田 謙介 内線 2 6 2 0

(6)C 型肝炎ウイルス検査の実施【新規】

51,546 千円

C型肝炎は自覚症状が現れず、気付いた時には慢性肝炎を経て肝硬変や肝がん等の深刻な病状に進んでいるケースがあります。区では平成 14 年度から 5 年間にわたって C 型肝炎ウイルス検査（B 型も含む）を実施し、C 型肝炎の早期発見と早期医療につなげます。

節目健診による肝炎ウイルス検査（40、45、50、55、60 歳）

高齢者健診による肝炎ウイルス検査（65・70 歳）

要指導者等第二次検診による肝炎ウイルス検査

[詳細] 地域保健課長 陣野原 伸幸 内線 5 5 6 0

5 . 安全でさわやかな街環境を保つ

自転車との共存を図る

(1) 放置自転車対策の充実（実態調査・撤去等）【新規】 44,302 千円

豊島区内には、JR、私鉄、都営を合わせ15の駅があり、これらの駅周辺には自転車駐車場等があるにもかかわらず放置自転車は依然多い状態です。各種放置自転車対策により、駅周辺の交通・通行障害を緩和します。

【放置自転車実態調査】

放置自転車防止施策の基礎データとするために、年間を通して、時間別・曜日別の駅周辺への乗り入れ及び放置状況、聞き取りアンケート等による調査を行います。

【放置自転車の防止 誘導】

放置の原因は、自転車駐車場の場所がわからない、駅から離れているので面倒である等の理由が大半を占めることから、自転車利用者に対して最寄りの自転車駐車場等へ適切に誘導を行います。

【放置自転車の撤去】

乗降客が多い駅のうち大塚駅については、自転車駐車場がまだ整備されていません。このため集中的に大塚駅周辺の放置自転車を自転車置場内へ移動・整理し、放置対策を図ります。

[詳細] 交通安全課長 若林 弘司 内線 2 9 7 0

(2) 目白駅東・北自転車駐車場の開設【新規】 31,992 千円

目白駅周辺には現在約1400台の放置自転車があります。今回開設する目白駅東・北駐車場と現在利用されている目白駅西駐車場とをあわせ、必要とされる収容台数を確保することができます。

【目白駅東自転車駐車場】

所在地 目白 1 - 4

収容台数 自転車：800 台

開 設 平成 14 年 4 月 1 日

【目白駅北自転車駐車場】

所在地 目白 3 - 16

収容台数 自転車：400 台、原動機付自転車：20 台

開 設 平成 14 年 4 月 1 日

[詳細] 交通安全課長 若林 弘司 内線 2 9 7 0

(3) 巣鴨駅南自転車駐車場の建設【新規】

2,000 千円

巣鴨駅周辺の放置自転車を解消するために、平成 13 年 4 月 1 日に巣鴨駅北駐車場（巣鴨 2 - 7・自転車収容台数：1216 台）と巣鴨駅南駐車場（巣鴨 1 - 13・自転車収容台数：130 台）を開設しました。未だ自転車駐車場が不足していることから巣鴨駅南駐車場に立体自転車駐車場を建設することとし、現在の 130 台から 450 台程度の収容を見込みます。

【巣鴨駅南自転車駐車場】

所在地 巣鴨 1 - 13
収容台数 自転車：450 台
開設予定 平成 17 年

[詳細] 交通安全課長 若林 弘司 内線 2 9 7 0

(4) 西巣鴨自転車保管所の整備【新規】

10,200 千円

豊島区内の自転車保管所は現在 8 箇所ありますが、5 箇所は借地で、その存続が担保されていません。また狭小な保管所も多いため撤去台数にも限界があり、現在区内で不足している自転車保管所を整備します。

【西巣鴨自転車保管所】

所在地 西巣鴨 4 - 14
収容台数 自転車：400 台
開設 平成 14 年 12 月

[詳細] 交通安全課長 若林 弘司 内線 2 9 7 0

(5) 池袋駅西自転車保管所の整備【新規】

21,900 千円

池袋駅西自転車駐車場は、その立地条件から利用率が低いので、区内で現在不足している自転車保管所としての機能を充実させます。

【池袋駅西自転車保管所】

所在地 西池袋 3 - 20
収納台数 自転車：500 台
開設 平成 14 年 12 月

[詳細] 交通安全課長 若林 弘司 内線 2 9 7 0

(6) 自転車利用空間ネットワークの整備【新規】

3,400 千円

自転車が手軽で環境にもやさしい日常的交通手段である点を積極的にとらえ、安全・快適に走ることができる自転車利用空間ネットワークを形成します。誰もが安心して安全に通行できる歩道空間を確保し、地域商店街の振興、活性化、レジャー等の観点にも配慮しながら、広域的な自転車道網の構築に取り組めます。

[詳細] 交通安全課長 若林 弘司 内線 2 9 7 0

美しい地球環境を守る

(1) 大気汚染対策(悪臭防止対策)の充実 拡充 10,010 千円

都市型悪臭苦情を迅速に処理するため、臭気センサー(測定機器)による測定や、人間の臭気感覚に基づく臭気測定の回数を拡充し、悪臭の発生源に対する規制・指導を推進します。対象を工場、指定作業場のほか飲食店等へ拡大します。

工場・指定作業所 約2,600件

飲食店等 約2,300件

[詳細] 環境保全課長 高橋 章 内線2830

(2) 低公害車の普及 拡充 33,137 千円

自動車排出ガスによる大気汚染防止のため、平成13年10月策定の「豊島区庁内低公害車導入計画」に基づき、庁有車を更新時に低公害車とするとともに、区内事業者に対して低公害車の普及・導入の促進をします。

庁有車 8台

清掃事務所車両 8台

[詳細] 環境保全課長 高橋 章 内線2830

(3) 屋上緑化の助成 拡充 2,016 千円

空地が少なく地上部への緑化が困難なことから、特に個人住宅など小規模な民間建築物においても屋上緑化を普及・推進し、年々深刻化するヒートアイランド現象の緩和や都市景観の向上を図ります。

助成単価 10,000円/㎡ 限度額は40万円 助成率: 工事費の1/2

目標数 約202㎡(56㎡×40%×9件)

[詳細] 公園緑地課長 工藤 敏郎 内線2950

(4) 公園・児童遊園ボランティア清掃の推進 拡充 1,486 千円

公園への愛着や地域環境の美化についての区民意識を高めるため、地域住民による「清掃ボランティア」を募り、公園・児童遊園内の掃き掃除と除草を依頼します。「地域の人々に愛され親しまれる公園」を目指します。

募集 平成14年度：10団体
清掃 園内掃き掃除 月2回以上
除草 年3回以上

[詳細] 公園緑地課長 工藤 敏郎 内線2950

(5) 資源分別回収(新パイロットプラン)の実施【新規】 450,515 千円

ごみ減量・リサイクルを推進し、ごみ排出抑制を図るため、池袋駅周辺の繁華街地区を除き区内全域で新たな資源回収を展開します。

回収品目 8品目12分別
回収場所 原則ごみ集積所
ごみ収集 可燃ごみのごみ収集は週3回から2回とし、資源日を設定。

[詳細] 清掃環境部計画管理課長 河原 勝広 内線3520

(6) 買い物袋(ペットボトル再生品)の普及・啓発【新規】 707 千円

豊島区から排出されるペットボトルから買い物袋(豊島ブランド)を作ります。ごみ減量やレジ袋を使わない運動の普及啓発の一環として役立てます。地域団体や大学生などのメンバーにより検討会を立ち上げ、デザイン等を決めていきます。

買い物袋(豊島ブランド)の作成：10,000袋

[詳細] 清掃環境部計画管理課長 河原 勝広 内線3520

(7)ごみ減量リサイクル普及推進事業の充実 拡充 5,945 千円

地域でのごみの排出抑制と、分別回収が円滑に実施されるために各種の普及啓発活動を行うリサイクル清掃推進委員を330世帯に1名を基本に123の全町会から合わせて552名を選出します。

また、資源回収、リサイクル、環境問題等のパンフレットを作成し、区内小学校に配布するとともに、啓発活動に活用します。

[詳細] リサイクル推進課長 長島 潔 内線2490

(8)新豊島清掃事務所の建設 【新規】 97,611 千円

区民に身近でより効率的な清掃事業を実施するために、旧豊島簡易裁判所跡地と現清掃事務所敷地を一体化して、事務所及び車庫機能を統合した新清掃事務所を建設します。

年度計画

平成14年度 基本・実施設計

平成15年度～17年度 工事

[詳細] 清掃環境部計画管理課長 河原 勝広 内線3520

(9)不法投棄ごみマップの作成及び撤去【新規】 4,992 千円

区内で不法投棄された廃棄物の実態を調査し、不法投棄ごみマップを作成するとともに、あわせて廃棄物の撤去を行います。

[詳細] 清掃環境部計画管理課長 河原 勝広 内線3520

(10)廃棄物収集事業(資源・ごみ出前収集) 拡充 662,348 千円

身体機能が低下し自分で資源やごみを出すことが困難な高齢者・障害者世帯に対し、玄関先まで職員が収集訪問することにより、日常の資源・ごみの排出を援助します。

出前収集世帯 120世帯

[詳細] 豊島清掃事務所副所長 山根 斎 電話3984-9681

清掃環境部計画管理課長 河原 勝広 内線3520

(11)ふれあい指導の充実 拡充

5,587 千円

ごみ出しルールの徹底や不法投棄防止等に協力を得るため、小学生や集積所を利用する区民・事業者に対してごみの正しい出し方、カラス被害の防止、集積所のきれいな使い方等をPRします。

出前ごみ・リサイクル講座の実施：小学校26校

街角ごみ・リサイクル相談の実施：区民対象12箇所

繁華街のカラス対策の実施：コンテナ貸出し等の試行実施・夜間パトロール

不法投棄防止強化月間活動の実施、夜間パトロールなど（年2回）

[詳細] 豊島清掃事務所副所長 山根 斎 電話 3 9 8 4 - 9 6 8 1

清掃環境部計画管理課長 河原 勝広 内線 3 5 2 0

(12)道路環境整備の推進【新規】

12,826 千円

駅周辺の主要幹線や繁華街及び親水公園を含む神田川沿いの歩行者専用道路で、年間を通して定期的に道路清掃を行い、住民に身近な環境美化に努めます。

道路清掃作業：17路線

[詳細] 道路管理課 増田 良勝 内線 2 9 1 0

6 . 機能的な都市空間を創出する

(1)用途地域等の見直し【新規】 14,958 千円

東京都は、都市計画法に基づく用途地域等の一斉見直しを行う予定となっておりますが、これに伴う豊島区原案を策定するための調査等を行います。区民等からの要望や意見を踏まえながら区案をまとめていきます。

見直し調査事務経費	9,648 千円
広報特集号の発行	5,310 千円

[詳細] 都市計画課長 上村 彰雄 内線 2 8 1 0

(2) 駅周辺整備 419,966 千円

大塚駅周辺整備の調査【新規】 (1,500 千円)

大塚駅周辺整備を図るため、JR や東京都、地元等との調整会議を行うとともに、南北自由通路とそれに関わる駅前広場・道路等の周辺整備の計画案を調査・検討します。

[詳細] 都市計画課長 上村 彰雄 内線 2 8 1 0

目白駅周辺整備事業【新規】 (224,200 千円)

目白橋の架け替え工事が完了した後、駅前広場、自転車駐車場、地下横断施設などの一体的整備を実施し、目白駅周辺の交通機能を拡充します。整備にあたっては、目白地域が持つ教育、文化、商業などの特性を活かした魅力的な景観づくりを考慮します。

(1) 駅前広場整備 3 年計画の 3 年次目	(50,050 千円)
(2) 地下横断施設の整備 4 年計画の 4 年次目	(174,150 千円)

[詳細] 道路整備課長 萩原 茂 内線 2 9 3 0

下板橋駅周辺道路等整備【新規】 (194,266 千円)

駅前道路の整備により自動車と歩行者を分離するなど、安全性と利便性の向上を図ります。平成 14 年度は板橋区とともに線路南側の整備を進めます。

[詳細] 計画道路事業課長 西澤 茂樹 内線 2 9 4 0

(3)都市計画道路補助 175 号線の整備【新規】 438,900 千円

都市計画決定に基づき、東池袋四丁目地区市街地再開発組合が施行する市街地再開発事業において、当該計画道路の一部を整備して、円滑な交通と健全な市街地の形成を図ります。区は公共施設管理者としてその費用を負担します。

都市計画道路補助 175 号線の当該対象場所等

- ・位置 東池袋 4 丁目
- ・長さ 約 110m
- ・幅員 18m

[詳細] 再開発課長 鮎川 傑 内線 2 8 9 0

(4)再掲新たな住宅マスタープランの策定【新規】 8,500 千円

地域特性に応じた住宅施策を総合的・計画的に推進するため、住宅及び住環境の現状と問題点を調査・分析し、住宅マスタープラン（平成 8 年度に策定）を改定します。地域高齢者住宅計画の策定や市街地整備プログラム、個別ヒヤリング調査を実施し、具体的な施策を展開します。

また、新たな住宅白書を作成します。

[詳細] 住宅課長 齊藤 雅人 内線 2 8 5 0

(5)長崎道立体横断施設の建設【新規】 57,000 千円

J R 山手線・埼京線と交差している長崎道踏切は遮断時間が著しく長く、付近に立体交差箇所がないため、踏切の東西を行き来する交通の障害となっています。

この場所にエレベーター 2 基を付置した横断人道橋を整備し、歩行者や自転車の利便性と安全性を図ります。

工事区間 目白 2 丁目 2 8 番～目白 3 丁目 1 7 番

工事内容 実施設計 計画幅員：2.1m 橋の長さ：33.3m

完成予定 平成 1 6 年 1 2 月

[詳細] 道路整備課長 萩原 茂 内線 2 9 3 0

(6) 橋梁の整備【新規】

260,635 千円

染井橋

(199,202 千円)

J R 山手線に架かる染井橋の架け替えを行います。6 年計画の 4 年次目。

工事区間 文京区本駒込 6 丁目 2 3 番 ~ 豊島区駒込 3 丁目 4 番

工事内容 支障物件移設工事の実施、幅員：現状 6.0 m 計画 8.0 m

完成予定 平成 17 年 3 月

神高橋

(61,433 千円)

神田川に架かる神高橋の架け替えを行います。2 年計画の 2 年次目。

工事区間 新宿区高田馬場 2 丁目 ~ 豊島区高田 3 丁目

工事内容 基礎工事、下部工事の実施、幅員：現状 9.9 m 計画 15.0 m

完成予定 平成 15 年 3 月

[詳細] 道路整備課長 萩原 茂 内線 2930

(7) 椎名町公園の整備 【新規】

12,000 千円

都営住宅の移転に伴い、順次開放してきた仮児童遊園 (5,009.07 m²) が平成 13 年 4 月に都から区に移管されたため、8 月にこれを公園として供用を開始しました。加えて 13 年度末に残存都営住宅部分 (104.32 m²) が都から区に移管されることになったので、既開放部分を含めて平成 14 年度に改修工事を実施します。

椎名町公園の面積 5,113.39 m²

所在地 南長崎 1 - 20 - 1

[詳細] 公園緑地課長 工藤 敏郎 内線 2950